

# 選手の冬用品を贈る

## 津RC SO日本・三重に30万円相当



スノーシューイングやプロジェクター、パーカを贈った津RCの増田会長（左から2人目）、目録を持つ米川理事長（中央）＝津市大門の都シティ津で

津市の津ロータリークラブ（RC）は十一日、知的障害者スポーツの支援団体「スペシャルオリンピックス（SO）日本・三重」（四日市市）に、冬季大会で選手が使うスポーツ用品

など三十万円相当分を贈った。SO日本・三重は、スポーツを通して知的障害者の健康増進や社会参加を支援している。同RCは二〇一六年から寄贈を続けてお

り、今回は二〇年二月の北海道大会に使用する県選手団のパーカ九着と、洋式かんじき「スノーシューイング」四足、プロジェクター一台を用意した。寄贈式は同市大門のホテル「都シティ津」であり、増田冬樹会長が、米川直樹

### 独特の女性像 津で洋画個展

伊勢の田中さん

伊勢市藤里町の洋画家田中陽久さん（66）の個展が十一日、津市中央の三重画廊



「女性像から自由に感じて」と話す田中さん＝津市中央の三重画廊で

理事長に目録を手渡し、実物を披露した。増田会長が「障害者スポーツへの理解や関心を高めたい」と述べたのに対し、米川理事長は「継続的な支援は、活動の計画が立てられ大変ありがたい」と感謝した。

（河北直行）

で始まった。十五日まで。田中さんは独立展に所属し、画歴は四十三年。神話に出てくるような女性像を

描くことで知られる。今回出展したのはこの一年ほどの新作になる。

いずれも10号までの小品で、虚空を物憂げに見詰める女性像が目を引き、油彩画三十一点と素描六点を並べた。田中さんは「何を見ているのだろうか」と自由に想像してもらえたら」と話す。

展示は午前十時～午後六時。最終日は午後五時まで。 （河北直行）